診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2006年1月1日 ～ 2024年12月31日の間に、虎の門病院消化器外科・消化器内科に入院し、膵切除術・超音波内視鏡下穿刺吸引法・超音波ガイド下針生検などが施行され、病理組織学的に通常型浸潤性膵管癌以外の稀な膵充実性腫瘍（以下に記載）と診断された方。今回対象となる稀な膵充実性腫瘍は、膵腺扁平上皮癌、退形成性膵癌、膵腺房細胞癌、膵粘液癌、転移性膵腫瘍、膵神経内分泌腫瘍、充実性偽乳頭状腫瘍（SPN）です。

【研究課題名】

稀な膵腫瘍の画像所見と臨床病理学的検討

【研究の目的・背景】

《目的》

当院にて外科的切除または超音波内視鏡下穿刺吸引法、超音波ガイド下針生検などにより、通常型浸潤性膵管癌以外の稀な膵充実性腫瘍：特殊型膵癌（腺扁平上皮癌、退形成性膵癌、粘液癌など）、腺房細胞癌、転移性膵腫瘍、神経内分泌腫瘍、充実性偽乳頭状腫瘍と診断された症例の画像所見・臨床病理学的特徴を解明することです。

《研究に至る背景》

膵腫瘍の多く（80%以上）は予後不良な浸潤性膵管癌ですが、他にも様々な種類の膵腫瘍があります。稀な膵充実性腫瘍としては、特殊型膵癌（腺扁平上皮癌、退形成性膵癌、粘液癌など）、腺房細胞癌、転移性膵腫瘍、神経内分泌腫瘍、充実性偽乳頭状腫瘍（SPN）などが挙げられます。それぞれ予後や治療法が異なるため、最善の治療法を選択するうえでは正確な鑑別診断が必要です。このため、腫瘍の性状・画像所見・臨床的特徴などを詳細に検討することにより、稀な膵腫瘍の典型像・鑑別診断のポイントを明確にできれば、正確な術前診断をできる可能性があり公衆衛生の向上に寄与できるものと考えています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年7月28日 ～ 2028年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は、虎の門病院消化器内科 小山里香子のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

血液検査結果、画像検査結果（内視鏡画像、超音波画像、CT、MRI、ERCP）、診療録、看護記録、薬歴、手術記録、病理組織結果など

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院消化器内科 医長 小山 里香子

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年4月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院消化器内科医長 小山 里香子

電話 03-3588-1111(代表)